



e-Administration
Advisor Club

会報 わかくさ

第17号

2017年 4 月 発行

自治体や中小企業のさまざまなITの
お悩みをベテラン集団が解決

<http://eaac.sakura.ne.jp/>

わかくさ抄

～ 超スマート社会を迎えるなか、子ども教育に思う ～

最近、超スマート社会と言う言葉を聞くが、ネットワークの高度化、ビッグデータ解析技術、人口知能(AI)など ICT 分野の発展は目覚ましく既に始まっている IoT(モノのインターネット)等、ネット社会の広がりには留まるところを知らない。こんな中、身近な問題として地域社会や学校の現場に目を向けるとネット社会の明暗が見えて来る。

インターネットのお蔭で市民の生活は利便性やスピード面で大きく変わったと思う。生活にゆとりやスピード間が生まれた一方で、子どものネット教育面を見ると「子どもとネットモラル」の心配な面が見えてくる。学校だけでは十分に対応するのは難しいところもあり、もっとも地域域の力を活用出来るインフラ整備が大事であると思う。

最近大学を卒業して就職した新入社員の「パソコン力が落ちている」と言う話を聞くが、ある企業では新入社員教育プログラムから「パソコン研修」は外せないそうである。小学生のうちからパソコン力の基礎を勉強する時間をもっと増やせないだろうかと考えてしまう。

ある小学校の授業時間、国語/算数 175h、社会/体育 90h、音楽/図画工作/家庭 50h、理科 76h、道徳/英語 35h、総合学習 146h で ICT に関係の深い理科の時間が前年に比べて 29h 短くなっている。

情報(ICT)関係の授業が見えて来ないが、インターネット検索等に関しては各授業の中で教えられている。先生の負担は増える一方であるが ICT に強い先生が学校によっては少ないと言う。これは前述の「新入社員のパソコン力低下」につながるのではないかと。先生の「ICT スキルアップ研修」を望む学校もあり、地域には ICT に強い人も多く、人材の掘り起こしが出来れば、授業が終わる放課後の時間を利用して ICT 研修も十分に可能ではないかと思う。

小学校のクラブ活動は 4.5.6 年からの入部で始まる。パソコン部はパソコンの基礎からインターネットの正しい使い方まで、また科学クラブも ICT 関連テーマが多く「ものづくり教室」として体験教室を指導している。

今、最も大事な関心事は「インターネットに潜む危険から子どもを守る」事ではないだろうか。とある病院の待合室の事、幼児がぐずるとお母さんは何のためらいもなくスマホを渡す、と幼児は喜んで遊んでいる。

スマホ「自撮り」の児童ポルノが SNS で広がり、問題が深刻化しているが、子どものネットモラルの問題であり幼児のうちから教える必要がある。もっと大きくなってからでは遅い。警察庁によると児童ポルノ事件の被害者は昨年より 45%増の 1313 人で、わいせつ画像撮影 1662 件、公然陳列 761 件、所持 76 件となっており、殆どが SNS で知り合った知らない人に騙されたり、脅迫されて画像を送らされている。

特別な施策はなく子どもの「ネットモラル」どう教えるか、危機感をもった指導が急務で考えている時間はありません。教えることは二つ「自戒の心」と「ネットリテラシ」でこれ以外には考えられない。SNS 会話の「道徳心、人権」と、「インターネットの怖いところ」を教える。

子どもに「インターネットは難しい」は通らない、子どもでもスマホに触れる限り、その時から勉強を始める必要があるのである。

子どもがインターネットの事を誰からも教えられないまま、アプリのダウンロード、インストールなど意味も解らずに触って良いはずはなく、そこに問題が潜んでいることを子どもに教えなければならない。

普通社会は笑顔と言葉で会話するが、ネット社会は笑顔のない巨大な公的空間を一人出入りすることになるわけで、「インターネットの事を知る」ことは利用する者の義務ではないのかと思う。

2020 年から「プログラミング」授業が始まるが、学校側の受け皿が十分でない事は否めず、29 年度重点取り組みとして支援したいと考えている。今、プログラミングの基礎の勉強に役立つ MIT 開発の「スクラッチ」教室が子ども創造力を高められると人気があり、各地でプログラミング塾として開かれている。



e-AAC 理事
第2部会長
大洞 好生

今月のピックアップ！

『障害のある子やシニアへの スマホとモラル講座』を実施

平成 28 年度は、普通の小中高生や保護者への出前講座の他に、特別な立場にある子ども達への ICT 学習や、シニアを元気にする出前講座を実施しました。

- ・奈良県立ろう学校：
教師、生徒、保護者
- ・寧楽ゆいの会：
障害者就業支援
- ・奈良大宮まつり：
子どものスマホ5つの約束
- ・高田市青少年センター：
不登校の生徒
- ・NPO 法人おかえり：
親のない子
- ・飛鳥学院：
不登校や社会性に遅れた子
- ・奈良フェニックス大学：
シニア向けセキュリティ講座

スマホ・ケータイ正しく使う

5つの約束まもりませす

1. ネット掲示板 ゆきこみに書きこみません
2. 友だち とも“なにかま”からはずしません
3. LINE “既読”
みんなで“既読むし”しましょう
4. ユーチューブ コメント書きません
5. スマホ よる9時でやめませす

【発行】：NPO法人 電子自治体アドバイザークラブ

『明日香村地域情報化計画作成支援業務』

を継続受注

継続受注に加えて、e-AAC の自治体会員に入会いただきました。

【委託先】：明日香村役場

【期間】：H29年4月1日～H30年3月30日

【情報化計画作成業務】：明日香村の地域特性や住民ニーズ等を明確にし、情報化推進の方向性及びそのための必要とされる地域の情報化計画を担当課と協働で具体化します。

【e-AAC 自治体会員としての対応】：定期的に訪問して行政システムに関する『ちよっとアドバイス』を行います。

自治体より『シニアを元気にする活動』を受注

- (1) インターネット楽サロン：天理市情報政策課
 - ・実施場所：天理市産業振興館
 - ・実施時期：2/7,9,14,16,21,23,27 (7回)
- (2) シニア向けスマートフォン活用講座：大和高田市市民協働推進課
 - ・実施場所：大和高田市 市民交流センター
 - ・実施時期：2/24
- (3) いきいきはつらつパソコン教室：天理市健康福祉部
 - ・実施場所：天理市メディカルセンター
 - ・実施時期：H29年度 12回計画

「第1部会」からの報告 自治体情報化支援

第1部会では自治体会員を定期的に訪問して、行政の情報化支援を行っています。

1. 自治体会員への巡回サービス

e-AAC の自治体会員を定期的に巡回訪問して、それぞれ自治体が抱えている ICT に関する課題について、『ちょっとアドバイス』を行っています。また、本年度より明日香村が自治体会員に加わりました。

(1) 現在の自治体会員

- ◎ 天理市
- ◎ 葛城市
- ◎ 奈良市（準会員）
- ◎ 大和高田市
- ◎ 橿原市
- ◎ 明日香村

(2) 平成28年度の実績： 合計 46 回

4月	5月	6月	7月	8月	9月
3回	5回	5回	4回	4回	5回
10月	11月	12月	1月	2月	3月
3回	4回	4回	3回	3回	3回

2. 明日香村プロジェクト

(1) 地域情報化計画作成業務

明日香村とは3年連続して地域情報化計画作成業務に関わることになりました。



【27年度】

KCN からの再契約として、明日香村山間部のブロードバンド環境整備に関する住民ニーズの調査を実施しました。

- 契約期間：平成 27 年 12 月 9 日～平成 28 年 3 月 25 日

【28年度】

明日香村全体の情報化計画を作成する業務を受託し、情報化計画の方向性をまとめました。

- 契約期間：平成 28 年 9 月 1 日～平成 29 年 3 月 25 日

【29年度】

前年から引き続いて契約を締結し、地域情報化計画を担当課と協働で具体化することになりました。

- 期間：平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 30 日

「夢ある明日香づくりの政策体系」にある様々なビジョンや施策を、“先進的な情報技術”を活用して実現するための情報化計画を策定し、e-AAC メンバーを駐在させ、職員と一緒に取り組めます。

(2) 自治体会員として参加

平成 29 年 4 月から、e-AAC 自治体会員になりました。定期的に訪問して、行政システムに関するアドバイスや提案を行うことになりました。

3. インターネット楽サロン

天理市より、“シニアを元気にする活動”の一環として、3 年前から実施しています。

- 依頼元：天理市情報政策課
- 実施場所：天理市産業振興館
- 実施時期：2/7,9,14,16,21,23,27 (7 回)

定員 11 名に限定して、パソコンの初歩から、メールのやりとり、Facebook まで 7 回の講座をサロン形式で行った。Facebook を扱えるようになっていただきました。



4. 特別な子供やシニア

平成 28 年度は、普通の小中高生や保護者への出前講座の他に、障害など特別な立場にある子ども達やシニアへの出前講座を実施しました。(第 2 部会とともに)

- ① 奈良県立ろう学校：(対象) 教師、生徒、保護者
- ② 寧楽ゆいの会：障害者就業支援
- ③ 奈良大宮まつり：子どものスマホ5つの約束
- ④ 高田市青少年センター：(対象) 不登校の生徒
不登校生徒にもスマホの知識を与えたいとの熱意に応えました。
- ⑤ NPO 法人おかえり：
親のない子の自立生活支援研修として実施しました。
- ⑥ 寧楽フェニックス大学：シニア向け講座
シニア向けの情報セキュリティ研修として実施しました。
- ⑦ 飛鳥学院：(対象) 不登校や社会性に遅れた子
不登校傾向にある子どもたちや社会性やコミュニケーションに未熟さがみられる子どもたちの社会的支援活動をしている学院の職員の方への研修を実施しました。

5. 草の根サイバーセキュリティ全国運動協議会 (Grafsec-J)

セキュリティの問題は市民レベルまで広がっています。この協議会は市民レベルの全国運動を広めることを目的とした活動です。e-AAC は全国会員及び企画会議のメンバーになっており、下記会議に出席しました。

- 3/13 全国連絡会議：各団体の活動報告
- 3/14 Grafsec-J 企画会議

「第2部会」からの報告 学校教育情報化支援

インターネットの広がりや目覚ましく毎日の生活も大きく変わり、幼児がスマホをおもちゃにして遊んでいます。一方ネット被害は子どもの低年齢化する傾向にあると言います。インターネット知識に乏しい子どもがスマホを無意識に使うのは問題です。スマホにタッチするその時から指導を始めなければなりません。子どもの「ネットモラルやネットリテラシ」の指導は保護者と学校、地域社会の皆で指導するインフラづくりが急務と考えます。また、小学校で2020年からプログラミング授業が必修科目となりますが、e-AACも避けて通れない問題で前向きに取り組みたいと考えます。

■ 平成28年度「学校ICT支援」実績

(実施月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
クラブ活動		4	4			3	5	3	3		2		24
授業支援							1	1	3	1		1	7
ひまわり学級							1						1
スマホ講座	1	4	20	1	2	5	5	2	4			2	46
パソコン構造				1			1		1	2	5		10
子どもパソコン								2			1		3
プログラミン						2	1			4			7
計		5	8	20	2	7	14	11	9	11	8	3	98
奈良市	・佐保台小 ・西大寺北小 ・伏見小 ・富雄北小 ・朱雀小 ・三碓小												
天理市、高田市 橿原市、郡山市 生駒市など	・柳本小 ・下田小 ・真美ヶ丘第一小 ・浮孔小 ・矢田小 ・生駒大瀬中 ・菟田野中 ・御所中他												

■ スマホ・ケータイ啓発出前講座

1. 奈良コンソーシアム助成金講座 26回 / 3359名

H28年度実績					
1	6/6	真菅小	14	7/20	山辺高校山添分校
2	7/1	聖心学園中等教校	15	8/24	広陵東小
3	7/6	済美南小	16	9/7	陵西小
4	〃	片桐西小	17	9/20	今井小
5	7/7	生駒北小	18	10/19	三碓小6年
6	7/8	郡山中	19	11/1	富雄北小
7	7/11	白檀南小	20	11/11	三碓小5年
8	〃	斑鳩東小	21	11/12	香芝市くらし考える
9	7/12	生駒大瀬中学	22	11/11	三碓小5年
10	〃	斑鳩小	23	11/12	香芝市くらし考える
11	〃	新庄小5年	24	12/8	宇陀市菟田野中学
12	7/15	郡山北小	25	12/16	御所中
13	7/19	天理南中学校	26	1/26	県立ろう学校、保護者



【天理南中学校】



【高田市陵西小学校】

2. 草の根サイバーセキュリティ助成金講座 3回 / 28名

1	5/20	寧楽ゆい会	3	7/28	寧楽ゆい会
2	6/29	奈良県立ろう学校			

3. e-AAC シニア向け セキュリティ講座 1回 / 28名

1	3/1	フェニックス大学			
---	-----	----------	--	--	--

4. 遊戯協同組合助成金講座 18回 / 1972名

H28年度実施					
1	6/1	王寺工業高校	10	10/13	矢田小
2	6/24	畝傍南小	11	10/28	柳本小学校6年
3	7/1	檀原中学校	12	10/28	柳本小学校保護者
4	7/5	浮孔小5年	13	11/1	富雄北6年
5	〃	浮孔小6年	14	11/19	朱雀小
6	7/13	真美ヶ丘第2小	15	1/14	おかえり
7	7/30-1	大宮まつり	16	1/18	新庄小6年
8	7/30-2	大宮まつり	17	1/31	奈良県立ろう学校
9	9/26	高田青少年センター	18	3/6	飛鳥学院

■ 子どもゆめ基金事業 1次申請認可分

実施日	会場	テーマ
1 8/20土	橿原市今井地区公民館 no.1620134	パソコン構造機能
2 29/2/4	橿原市新沢地区公民館 no.1620134	パソコン構造機能
3 9/17土	橿原市耳成地区公民館 no.1620132	プログラミング
4 1/21土	橿原市白檀地区公民館 no.1620132	プログラミング
5 11/12土	橿原市多地区公民館 no.1620133	子どもパソコン
6 11/19土	橿原市鴨公地区公民館 no.1620133	子どもパソコン

■ 子どもゆめ基金事業 2次申請認可分

実施日	会場	テーマ
1 9/21水	奈良市大宮小:大宮事務所 no.1622477	プログラミング
2 10/12水	奈良市大宮小:大宮事務所 no.1622477	プログラミング
3 29/2/8	奈良市大宮小:谷口手芸教室 no.1620132	子どもパソコン

■ 学校授業支援 タブレット授業<西大寺北小学校>

ひまわり学級	・タブレットを楽しむ <10/6 1限 ・<自分紹介/1年間の思い出/カメラ画像に絵を描く
クラブ活動	・タブレット <Office:10/17 11/14 12/12 <29/1/30 29/2/20 ・パソコン構造と機能 <29/2/3 29/2/20(科学クラブ)
1年生授業	・タブレット授業 <29/3/14 <1限から×4組 = 4限
3年生授業	・タブレット授業 <10/4 <2限から×3組 = 6限

■ 平成29年度学校支援計画

1. スマホ時代の子どもの「ネットモラル」啓発出前講座

1	子ども:ネットリテラシ&モラル	小中高生	小中高等学校
2	指導者:子ども守る先生・保護者・PTA・地域の人		学校・公民館等

2. ものづくり教室

1	パソコンの構造と機能を学ぶ ・古いパソコンを分解、組立体験 ・スマホ、タブレット構造も入れる	小学生	学校 & 地域公民館
2	プログラミング ・スクラッチ (MIT 開発)	小学生	学校 & 地域公民館
3	子どもパソコン ・イチゴジャム、組立、プログラム	小中学生	学校 & 地域公民館



【スクラッチ】

「第3部会」からの報告 パソコン研修

パソコン教室では、受託事業と自主事業の二本立てで推進中です。受託事業では昨年からの実施の2つのパソコン教室が本年は開催されませんでした。一方自主事業のシニア対象とした高田教室では中級教室を1月から開催しました。また新たな取り組みとして高田市市民交流センターでシニア向けスマホ講座を2月に開催、来年度から具体的なテーマを設定し取り組む予定です。

■ 『パソコン教室』(受託事業)

NTT 電友会パソコン研修は上期・下期共に回数が6回から8回に増え、午後には何でも相談を実施しました。又新たに高田市市民交流センターから依頼のあった「スマホ講座」を2月に開催しました。それ以外はほぼ昨年とほぼ同じです。

1. 奈良県市町村職員 パソコン研修

9月(6コース)に引き続き後半(2月)では4コースと昨年度と同じ講座とコース数を実施しました。「エクセル応用とマクロ」では事前にリハーサルを兼ねて勉強会を実施し、新規サポーターの育成に努めました。来年度は2コース追加の予定です。



2. 耳成地区公民館 パソコン教室

耳成地区公民館の協力が大きく、下期も8回シリーズの講座を実施、皆さん熱心に受講され最終日には館長から全受講者に卒業証書が手渡されました。

3. 天理市 パソコン教室

天理市では、公民館を一巡するパソコン教室を開催しており、下期は祝徳公民館にて実施しました(各教室とも6回のコース)。今回で天理市の公民館一巡が完了しました。来年度からはインターネット環境の揃った樺本公民館に固定して実施の予定です。

4. NTT 電友会 パソコン教室

上期の耳成公民館に引き続き、下期はNTT 大安寺ビルにてパソコン応用講座(8回コース)を実施しました。午後には新たに何でも相談を実施、皆さん熱心に受講されました。更に下期は年賀状コースを耳成地区公民館とNTT大安寺ビルで実施しました。



5. 奈良市企業局パソコン研修

昨年度に引き続き、奈良市企業局の職員を対象にエクセル応用講座(2回×1日コース)を実施しました(市町村パソコン研修の縮小版)。

6. スマホ講座

高田市市民交流センターからの依頼により実施しました。安全に楽しくスマホを使うことにシニアの活性化を図るべく「スマホの楽しい使い方、安全な使い方」と題して実施しました。次年度より具体的なテーマを設定して実施する予定です。



■ e-AAC 主催『パソコン教室』(自主事業)

各教室共に受講者確保が課題になっています。学園前教室では広報誌に申し込み案内を掲載頂いた結果、受講生が集まり始めました。

1. 大宮教室: e-AAC 大宮事務所 (第1、3土曜日)

- 土曜パソコン教室(パソコン初心者向):
第1、3土曜日実施(12回コース)。
- 「何でも相談」:月曜日～金曜日

2. 学園前教室: 西部公民館

- パソコン教室(毎木曜日午後):
パソコン基礎・テーマ別講習(年賀状・インターネット・メール)
- パソコン趣味の会:
1回/月、e-AAC 事務所にて実施

3. 高田教室: 中和労働会館 (第1、3水曜日)

- 午前:パソコン教室(パソコン初心者向け、12回コース)
- 午後:12月まで「何でも相談」
- 午後:1月以降新たに「パソコン活用講座」
(パソコン中級者向けを実施、6回コース)。

4. 天理中級教室: 天理市市民会館

- 下期は11月～12月に、天理市パソコン教室の受講者を中心に中級講座(各6回コース)を実施
- 2017年3月～4月にも6回実施予定(3月は3回)。

5. フェイスブック講座の開催

奈良フェニックス大学 OB を対象にフェイスブック講座を2回開催(合計23名参加)

■ 平成29年度上期の計画

	内容	実施回数	実施時期	
受託事業	市町村職員研修	7コース×2日	9月	
	耳成教室	8回(半日)	4月～8月	
	天理市初級教室	6回(半日)	6月	
	NTT 電友会	7回(半日)	5月～8月	
	(*) いきいきはつらつ PC教室	2回/2か月 計6回(半日)	4月～8月	
	(*) スマホ講座	未定	5月～9月(予定)	
	ソムリエの会	未定	未定	
自主事業	大宮教室	12回(半日)	3月～8月	
	学園前教室	8回(半日)	4月～9月	
	高田教室	初級	6回(午前)	4月～6月
		中級	12回(午後)	4月～9月
	天理中級教室		6回(半日)	3月～4月
		6回(半日)	7月～8月	

※ (*) は新規コース

「第4部会」からの報告

e-AAC
ワークショップ

平成28年12月4日、9日 の2日間

情報セキュリティセミナー

『IoT 時代に向けた

サイバーセキュリティと情報モラル』を開催

第1部

『みんなで考えよう！

スマホやインターネットの利用法』

12月4日 奈良市ボランティアインフォメーションセンター

▶ 基調講演

「奈良県は みんなでネットに向きあおう」

◎ 帝塚山大学経営学部教授ナリス理事長 日置慎治 氏

情報社会においては、常に危険と隣り合わせにある有害環境から子供たちを守るのには大人の役割である事、安全で適切に利用する上での留意点やトラブル事例と予防法や対処法等が掲載されているサイトを紹介されました。また、奈良県の取り組み事例として、

- ① 高校生によるスマホやインターネットの利用方法の見直しを促すメッセージ「大切なのは自戒の心～あなたは大丈夫？～」という「奈良県スマホ学生宣言」の作成
- ② 大学生による小・中学生にインターネットの危険性と安全利用を伝える出前講習会
- ③ 「青少年を有害環境から守る奈良コンソーシアム」の活動について詳しく説明された。

▶ 講演 2

「デジタル社会を生きる子供の“心・体・将来”を守る！
ネットのトラブルや依存を防ぐためにできることを知ろう」

◎ ネット教育アナリスト 尾花紀子 氏

子供を取り巻くデジタル社会で現状発生している問題が紹介された。

- ① 長時間使用によるスマホ老眼や睡眠障害
- ② 悪ふざけの投稿や投稿写真が悪用されるトラブル
- ③ 利用ルールやマナーを守らないネットいじめ
- ④ ネット特性の理解不足によるトラブル
- ⑤ “ながらスマホ”による事故やトラブル等

スマホの使用ルールやガイドラインを子供と話し合いながら作る事が重要で「ネット時代の子育て7つのポイント」が紹介された。

▶ 講演 3 (ハンズオンセミナー)

「みんなで考えよう、ケータイ・スマートフォン
～安心・安全なネット利用～」

◎ NPO 法人企業教育研究会 事務局 市野敬介 氏

情報モラル啓発講座を下記のステップ(一部割愛)で体験セミナーが行われた。

- ① 教材 DVD を視聴してスマホの良くない使い方をリストアップ
- ② 数人のグループで意見とりまとめ発表
- ③ アドバイスと使用時の留意点をとりまとめ

次に iPad を用いてフィルタリング、機能制限などの操作等の実体験をした。最後にスマートフォン、ケータイの安心安全な使い方が説明された。

第2部

『IoT 時代の情報セキュリティ』

12月9日 奈良市ボランティアインフォメーションセンター

▶ 講演 1

「マイナンバー制度とサイバーセキュリティ」

◎ 内閣官房 (IT) 総合戦略室長代理 向井治紀 氏

マイナンバー制度の導入趣旨、概要、仕組みや、マイナンバー制度の個人情報保護について、巷間で言われる懸念の払拭に根拠を示し、信頼性が極めて高いことを説明されました(個人情報保護)。次にセキュリティに関して、「マイナンバーカード」にはプライバシー性の高い個人情報は記録されておらず、「電子証明書」が記録されていること、多重にカード偽造防止対策がなされていること、紛失しても悪用困難な対策が講じられていること、これらの確保された信頼性の下に、マイナンバーカードの利活用として、公的個人認証サービスの民間拡大事例と利活用将来像とロードマップを説明されました。



【12月9日セミナー会場】

▶ 講演 2

「サイバー攻撃に打ち勝つ実践力ある

人材の育成の取り組み」

◎ 富士通(株) 部長 大久保仁志 氏

富士通グループ各社・各部門が有するセキュリティの知識を勉強会やSNSなどのコミュニティーを通じて共有し、セキュリティマイスターがそれぞれの現場で知識を展開している社内事例の紹介がありました。そうすることで現場のエンジニアが有する豊富な業務知識と強固なセキュリティ技術の融合や、最新のセキュリティ事情を踏まえたソリューションの提案が実現するものであり、それが企業の強みでもあり、他企業や行政組織においても人材の育成の重要性や様々な層とのコミュニケーションを円滑にする仕組みとして参考になるはずとの事でした。

▶ 講演 3

「サイバー犯罪の現状と対策について」

◎ 奈良県警サイバー犯罪対策室室長 佐竹伸治 氏

サイバー犯罪の検挙全国件数、犯罪の内訳などの警察庁データで説明され、IPA がまとめた「情報セキュリティ10大脅威2016」の中から主だったものを例に、インターネットサービス利用者の ID とパスワードを盗み様々な不正に使われる手口と、ID・PASS を盗む手口に偽サイトや偽メールなどがあることを紹介されました。手口は巧妙でありサイバー犯罪に遭わない基本知識を心得ておくことが大切であると結論付けられました。

平成29年度上期 e-AAC ワークショップ情報

詳細検討中！ ご期待ください。

e-AAC 第4部会

募集開始いたしましたら多くの皆様にご参加いただけるようご協力をおねがいします。また、開催テーマなどについて皆様のご要望、ご意見がありましたら事務局までご連絡下さい。

事務局からの報告

e-AAC 平成 28 年新年会

平成 29 年 1 月 28 日 於：奈良県文化会館

第 1 部 講演会 14:30~15:30

【テーマ】

明日香村の史跡・文化について

【講師】

前川光正 氏

奈良女子大特任教授
ソムリエの会会員



【講演会】

第 2 部 e-AAC 活動報告
15:45~17:15

第 3 部 e-AAC 懇親会
17:30~19:30

例年好評の 平成 28 年『e-AAC 十大ニュース』

順位	★ ニュース ★
1 位	明日香村プロジェクト
2 位	9 年連続「市町村職員研修会」の実施
3 位	6 年連続パソコン教室 (耳成公民館 大宮教室 電友会教室 学園前教室 高田教室)
4 位	「イチゴジャム」出前教室
位	小学生タブレット事業支援

順位	★ 参加者個人 ★
1 位	谷川 義明
2 位	高峯 幹男
3 位	藤村 茂
4 位	奥田 恵啓
5 位	堀 真須美



1 位 谷川氏の表彰

☆編集後記☆

小生はアンドロイドスマホを持っている。最新スマートアプリ Google Allo と遊んでみている。Ai アシスタントと会話ができるのだが、会話内容がむつかしくなると「すみません、わかりません」と Allo の返事。誠に幼児以下のような、小生の個人情報や癖を Allo に蓄えられていくことについては少々不安を感じる。今巷で Ai 技術が活用され始め、その賢さが話題になっているが、そのベースとなる ICT 技術、すなわちハード・ソフトそしてインターネットなどのそれぞれがスパイラルになって驚異的な速度で発展してきた今だからこそ、それを可能にしていると考えられる。当然ながら Ai 技術はさらに日進月歩で成長して、途方もない大人の姿へ変遷していくだろう。その結果、超スマート社会に大いに貢献することになるのだろうが、そこには大きな問題が潜んでいる。それは本稿「わかさ抄」で提議されている ICT 技術を扱うための教育の必要性であり、喫緊の課題であると考え。

e-AAC のますますの活躍を期待したいと思います。(Masaharu SATO)

平成 28 年度『子どもゆめ基金』に採択される

e-AAC の活動が評価され、28 年度の 1 次、2 次に採択されました。これまで 9 つの講座を実施して、関係者・関係団体から好評を得ています。なお、平成 29 年度も子どもゆめ基金に申請しています。

【1次採択分】

- ① プログラミング体験講座……2 回実施
- ② パソコンを分解して構造・機能……2 回実施
- ③ 子どもパソコンの製作体験講座(イチゴジャム)……2 回実施

【2次採択分】

ものづくり教室……3 回実施

シニアを元気にする活動。

健康寿命を延ばす目的で、シニアの健康作りの活動が行政の施策として活発になっている。いくつかの自治体より、“シニアを元気にする活動”の一環として下記の講座を受託しました。

(1) インターネット楽サロン

- ・依頼元：
天理市情報政策課
- ・実施場所：
天理市産業振興館
- ・実施時期：
2/7,9,14,16,21,27 (7 回)



【インターネット楽サロン】

(2) シニア向けスマートフォン活用講座

- ・依頼元：
大和高田市市民協働推進課
- ・実施場所：
大和高田市市民交流センター
- ・実施時期：2/24



【シニア向けスマートフォン活用講座】

(3) いきいきはつらつパソコン教室

- ・依頼元：
天理市健康福祉部
- ・実施場所：
天理市メディカルセンター
- ・時期：29 年度 12 回計画

e-AAC 会員募集

- ◎ 正会員
- ◎ 個人会員
- ◎ 賛助会員
- ◎ 自治体会員

会員皆様からのご紹介・勧誘をお待ちしています。特に、企業・団体・機関の会員を増やしていきたいと思ひます。事務局までご連絡ください。

Tel/Fax: 0742-36-8520
e-mail: e-aac@kcn.jp

発行

特定非営利活動法人
電子自治体アドバイザークラブ(e-AAC)

編集

e-AAC 編集部
(ご連絡先) e-mail: e-aac@nifty.com
ホームページ: http://eaac.sakura.ne.jp/